

# 市のインフラ整備について問う



立石 昭夫

**建設課長** 段差箇所が集中する場合は、補助事業を活用して整備を行います。以前指摘された箇所については、現在発注しており、4月中旬に改修に入る予定です。

**立石** 国道57号北側復旧ルートの全面開通を見据え、まずは市内道路の整備が急がれると思われるが、2月に発生した市道内牧幹線4号線の道路陥没事案について、どのような原因で発生したのか。また、その後の対応と今後同様な事案が発生しかねないのでは。

**中本建設課長** 帯屋電機前の道路付近で陥没箇所を2箇所確認しています。ともに腐食した丸太が埋没しており、そこに舗装や土砂が流れ込み路面が落ちたものと思われま。周辺では同様の陥没が発生する可能性がございますので、今後も注意深く観察し、適宜対応すると同時に計画的な舗装工事を進めます。

**立石** 新橋からローソン前交差点までは側溝自体も古く併せて改良できなにか。

**建設課長** 交付金事業では、側溝も一緒に整備できると聞いていますので、併せて整備を図ります。

**立石** 道路の亀裂や橋りょうとの段差への対応は。



賀田 2 号踏切

**古閑住環境課長** 危険度の高いものは、発見次第、復旧しています。熊本地震による小災害復旧については、現在、建設課で施工を進めており、年度をまたいでの復旧となります。

他に「豊肥本線の復旧状況について」、「賀田2号踏切付近の道路改修について」の質問がありました。

# 阿蘇市子育て支援センターの今後は



田中 弘子

**田中** 宇土区にある子育て支援センターの築年数と過去の被害状況は。

**宮崎市民部長** 築52年で、平成2年と24年の水害により床上浸水等の被害がありました。平成28年の熊本地震においては、壁等に若干の被害があり、その都度部分改修をしています。

**田中** センターが継続になりましたが、期限はあるのか。

**市民部長** 52年が経過し老朽化が進んでおります。3月の補正予算で施設点検の委託を計上し、その結果によっては、今後6月、9月の補正等で財政課と協議を進め緊急度の高い分から改修を行います。その後の施設については必要に応じて利用者の方と十分な協議を行いながら進めて参ります。

## 山田小学校について

**田中** 山田小学校の閉校後の利用は。

**市原教育部長** 山田小学校の児童は4月8日から内牧小学校に登校す

る状況になりますが、施設につきましては教育委員会の管理となります。グラウンド及び体育館は社会体育施設として対応予定です。

**田中** 今後の地域での活用は。

**教育部長** 今後は、地域のスポーツやレクリエーション行事等に使用していただく形で管理していきます。

**阿蘇医療センターについて**  
**田中** 阿蘇医療センターの看護師の状況は。

**井野医療センター事務局長** 常勤看護師は84名いますが、そのうち18名の産休・育休取得者がいますので、熊本市市民病院からの10名の派遣受入れと非常勤職員の雇用で、看護配置基準10…1を維持しています。



阿蘇市子育て支援センター

## 阿蘇市に関する事故や事件等が 発生した際の議会への報告説明は



市原 正

**市原** 昨年の阿蘇山上の事故などの報告・説明が、議会より先に報道される事例が発生している。議会軽視ではないのか。

**高木総務部長** 職員の懲戒処分等につきましては、公表の基準が示されておりますので、その基準に基づき公表並びに議員各位への説明を行っています。それ以外の突発的な事故等に関しましては、その都度、判断、必要に応じ報告しています。今回の阿蘇山上D展望所外壁の一部落下事故につきましては、議会への報告は行っておりません。ご報告が遅れましたことを、非常に心苦しく思っています。議会を軽視する意図は全くございません。

**市原** 先に報道されると市民の方々は、当然、全ての議員は知っているものと思われる。子育て支援センターの件も議員が全部知っていたと報道されたが、実際は文教厚生常任委員会の議員のみの報告であった。これに関しては、報道に対しても強く抗議を行ったが、市民部長の見解を。

### 宮崎市民部長

私どもは、所管の委員会に報告するのが先決と思っております。まずは文教厚生常任委員会にご報告させていただいたのですが、今回の件、議会軽視という意図は全くございません。ご指摘は謙虚に受け止めます。今後、議長や所管の委員長と十分協議し、全体報告が必要な場合は、適宜、対応して参ります。

### 野焼きについて

**市原** 野焼きの賃金（日当）に地区や牧野間での格差がある。農政課長の見解を。

**佐伯農政課長** そのような実態があることを各牧野組合などに対しお伝えして参ります。



阿蘇山上D展望所

## 夢の湯の再開はあるのか



大倉 幸也

**大倉** 昨年の3月23日より休館して1年が経過しようとしているが、市の方針は。

**荒木まちづくり課長** 現在の場所での再開を目指し、また、市有地の温泉であることが一番望ましいという観点から協議を進めて行きたいと考えています。

**大倉** 休館中の経費は。

**まちづくり課長** 人件費が800万円、その他機械経費等を含め130万円程度になります。

**大倉** 市長となられて14年が経過しましたが、本施設の覚書等に関しては、当時から不自然な管理となっていることは分かかっておられたと思う。今後、どのような方針となるのか。

**佐藤市長** 正常な形での管理が一番理想的だと思われませんが、相手さんの事情もあって今日まで至っているのが実際のところ。今後、市民の皆さまに対し、しっかりと答えが出せるよう努めて参ります。

### 山田小学校の今後について

**大倉** 閉校する山田小学校の今後の利用計画は。

**市原教育部長** 校舎につきましては、当面、教育委員会での管理を行います。具体的な利活用は決まっています。グラウンド、体育館につきましては従来どおり社会体育施設として開放し、プールについては消防水利として利用したいと考えています。

**大倉** 閉校しても施設は残ります。敷地内の安全管理や樹木等の管理は、**教育部長** 適正な管理を行うべきであると考えています。

他に「解体が急がれる市の施設について」の質問がありました。



夢の湯天井崩落

# 市民の方々の移動手段を確保するために



佐藤 和宏

**佐藤市長** 高齢者等の移動手段の確保については、様々な法律との調整も必要とされ、その調整結果がどうなるかも懸念されるところですが、地方の交通問題については、喫緊の課題でもあり、市でできる限り検討を進めて参ります。

他に「阿蘇いこいの村、夢の湯の現状について」の質問がありました。



谷崎 利浩

**谷崎** 黒川地区の市政報告会では、「12月には」や、また、12月の経済建設常任委員会では「3月までには」を「12月まで」などと答弁されたが、物事を進めるに当たっては目標設定が必要と思われるが。

**佐藤市長** 軽々に希望的観測でいづらうと言いますと、後の責任の問題で、議論になってくると思っていますので理解して頂ければと思います。

## 子育て支援に力を

**谷崎** どの自治体でも子育て支援に關しては手厚く取り組んでいる。

また、小学校では部活動が無くなり、社会体育に移行する。そのような中、体育館の電気料の減免措置が無くなり、月数万円の負担増となるなど時代と逆行する事例がある。阿蘇の場合、特にJRの不通などで、家族ごと市外へ転出する風潮が来ている。次の世代も阿蘇で子育てしたいと思うように保護者に戸惑いと不満が無いようにして頂きたいが。

**日田教育課長** 使用料条例の見直

# 夢の湯の再開時期は

しは昨年3月議会で改正を行っています。減免措置については、教育委員会の内規で定めております。減免措置を見直した結果、使用料はこれまで通り減免。電気代については2分の1を負担して頂くということになりました。減免措置は他県よりも優遇されていると思っておりますので、ご理解をお願い致します。

## はな阿蘇美の未収金は

**谷崎** はな阿蘇美の以前の委託先の未収金はいくらか。また、毎年請求をしているのか。

**荒木まちづくり課長** 未収となつている基本納付金283万円です。請求については、先方と他の協議中の案件もありましたので行っていない。今後請求を行っていきます。

**山口財政課長** 現行の乗り合いタクシーは、民間のタクシーに依頼し、阿蘇地区、一の宮地区の運行を行っています。本事業は、基本、路線バス空白地域にお住いの方々に対して導入し、あくまで、路線バスまでの補完という扱いになっています。ドアツードアという形が一番望ましいとは思われますが、市内エリアも広く、全てに対応するとなると、台数も多くなり、運用するには難しい状況も想定されます。今後とも課題とされる問題解消に向けて、検討を進めたいと考えています。



阿蘇市乗合タクシー



阿蘇小学校体育館

# 学校教育のさらなる国際化に向けた取り組みを



森元 秀一

**森元** 2020年度からの新学習指導要領の全面実施を見据えた、また学校での生き生きとした国際教育の展開を期待する意味からも、このJETプログラムによるALTのさらなる任用の検討、英語教育の充実を図るべきでは。

**市原教育部長** 阿蘇市においては、平成32年度からの全面実施を先取りする形として、平成30年度から5、6年生の外国科70時間と3、4年生外国科活動35時間をすでに実施しています。平成32年度からの全面実施に向けてスムーズに移行できるように、現在、小学校に英語教員の加配1名、非常勤職員2名を配置し、平成31年度も引き続き同様の体制で実施することとしています。中学校については、ALT3名を各中学校に配置しており、外国科強化のため今後も3名での体制を継続し、さらなる充実を図ります。

他に「観光振興について」、「急がれるBCP（事業継続計画）の策

定の進捗状況」、「民間企業に対しての推進は」、「SNS相談窓口事業の設置について」、「所有者不明の土地の利用に関する取り扱いについて」の質問がありました。

※JETプログラム：外国青年を招致して、外国語教育の充実と地域の国際交流の推進を図る事業

※ALT：小中高校などの英語の授業で日本人教師を補助する外国語指導助手

※SNS：交友関係を構築するインターネットサービス



一の宮小学校

## 発議第2号 阿蘇市一の宮町地区の交番設置に関する意見書の提出について

本件は、平成31年第2回阿蘇市議会定例会において可決され、去る4月5日に「熊本県知事 蒲島郁夫氏」並びに「熊本県警察本部長 小山 巖氏」に対して、市の要望書とともに意見書を提出しました。

(内容) 現在、熊本県が進められている阿蘇警察署の移転に伴い、移転後に一の宮地域から警察拠点が無くなることを受け、熊本県警察引いては熊本県の責務として、市民が安心して暮らせる地域社会の構築と維持を図るためにも、移設する警察署に代わる交番設置とその後の跡地利用についての早急な対応を強く要望する。



知事部局対応者 福田充理事（熊本県 市町村・税務局長）写真中央